

# チュウサギ

*Egretta intermedia* (Wagler)

## コウノトリ目サギ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

### 選定理由

県内での個体数は少なくないが、国のRDB種であることを考慮して選定。

### 形態

全長63～72cm。雌雄同色。全身白色で、他のシラサギ類に比べてずんぐりした嘴や頭をしていて、首も短め。足の色は黒色。目先は黄色で、嘴の色も黄色であるが、繁殖期になると黒色に変化する。虹彩の色も黄色から赤に短い期間だが変化し、肩や胸に長い飾り羽が生じる。

### 国内分布

主に夏鳥として本州以南に渡来。一部は国内で越冬する。東北や北陸地方に少なく、全国的に減少傾向にある。

### 県内分布

水田、潟などに生息するが、個体数は少ない。繁殖は海岸の防風林などで行う。

### 生態

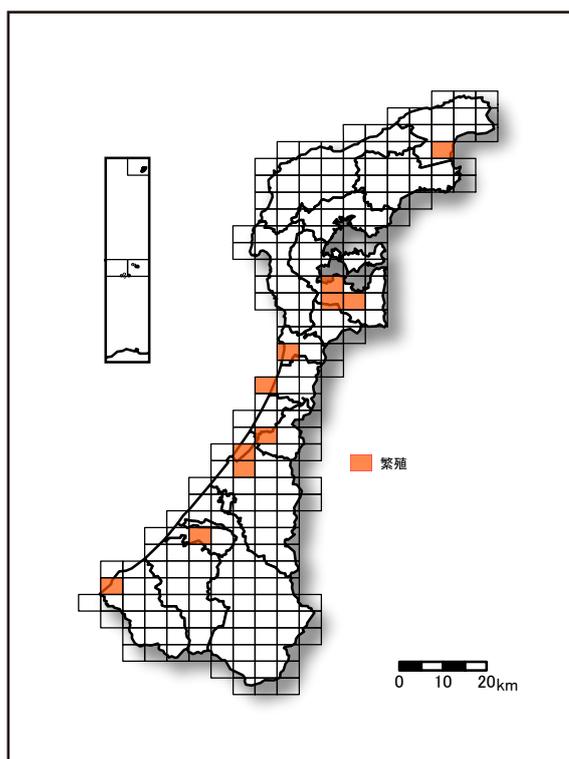
水田、湿地などで魚類、甲殻類、昆虫、クモ類などを捕って生活するが、ダイサギ、コサギのように海の干潟には出ない。林や竹藪で他のサギ類との混合コロニーで繁殖する。

### 生息地の条件

餌が豊富な水田や潟。繁殖できるような人が近づかない広い林。

### 生存の危機

防風林の減少や公園化、フン害などによる追い出しで繁殖可能な場所が減少。また水田の乾田化などで採食環境が悪化している。(A)



県内の分布